

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都市長	平成24年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-39 大広新大阪ビル5階	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 近畿統括本部長 長谷川一明

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001																													
適用範囲	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 吹田総合車両所（旧：吹田工場） （附ジェイアール西日本テクノス吹田支店、関西工機整備府京都支店を含む）																													
導入年月日	2005年 5月 12日																													
認証番号	EC06J0024																													
基本方針	吹田総合車両所（以下、車両所という）は、社会から信認され、お客様に安全・正確な輸送を提供するため、車両の点検、整備、改良を日々続けています。 私たちは、「JR西日本の地球環境に対する基本的な考え方」及び「私たちができる考動エコ」を実践し、グループ会社と共に自ら考え、自ら地球環境保護に向けて行動します。また、環境マネジメントシステムの継続的改善が、地球環境保護のみならず車両品質や作業安全性の向上にもつながることを理解し、車両所で働く社員の一人ひとりが、人任せではなく自分のこととして以下の環境保護活動に参加・推進します。																													
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成23年度の環境目標（各項目より主な取組みを2件抽出） (1)汚染物質の削減 特定化学物質（鉛、六価クロム等）、2種有機溶剤の削減 (2)省エネルギーの推進 灯油、ガソリンの使用量削減 (3)省資源・廃棄物の削減 事務記録用紙等の削減、廃プラ、金属類等の削減 (4)有益活動の推進 通勤経路の清掃と5S活動の実施																													
目標を達成するための取組の内容	平成23年度の環境目標（各項目より主な取組を2件抽出） (1)汚染物質の削減 ・特定化学物質（鉛、六価クロム）を含む物品の代替品開発と適用 ・車体の塗装において複色色を単色にすることで装置の洗浄シンナーを削減 (2)省エネルギーの推進 ・ボイラーの稼働時間見直しによる灯油使用量の削減 ・フォークリフトを電気式に置き換えによるガソリン使用量の削減 (3)省資源・廃棄物の削減 ・両面印刷による事務記録用紙の使用量削減 ・廃プラ、金属類等のリサイクルによる排出量の削減 (4)有益活動の推進 ・定期的に通勤経路を清掃することによる環境改善 ・5S活動による敷地内の環境改善（実施後の評価点）																													
目標を達成するための取組の進捗状況	平成23年度の環境目標（各項目より主な取組みを2件抽出） <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 特定化学物質</td> <td>代替品の適用数158両</td> <td>代替品の適用数158両</td> </tr> <tr> <td>2 2種有機溶剤</td> <td>単色車両の適用数34両</td> <td>単色車両の適用数34両</td> </tr> <tr> <td>3 灯油</td> <td>使用量708,300ℓ</td> <td>使用量602,200ℓ</td> </tr> <tr> <td>4 ガソリン</td> <td>使用量11,962ℓ</td> <td>使用量11,394ℓ</td> </tr> <tr> <td>5 事務記録用紙</td> <td>削減量84kg</td> <td>削減量388kg</td> </tr> <tr> <td>6 排出物のリサイクル</td> <td>リサイクル量3,595 t</td> <td>リサイクル量4,544 t</td> </tr> <tr> <td>7 通勤経路清掃</td> <td>実施回数27回</td> <td>実施回数32回</td> </tr> <tr> <td>8 5S活動</td> <td>評価点36点（平均）</td> <td>評価点40点（平均）</td> </tr> </tbody> </table>			取組項目	目標	実績	1 特定化学物質	代替品の適用数158両	代替品の適用数158両	2 2種有機溶剤	単色車両の適用数34両	単色車両の適用数34両	3 灯油	使用量708,300ℓ	使用量602,200ℓ	4 ガソリン	使用量11,962ℓ	使用量11,394ℓ	5 事務記録用紙	削減量84kg	削減量388kg	6 排出物のリサイクル	リサイクル量3,595 t	リサイクル量4,544 t	7 通勤経路清掃	実施回数27回	実施回数32回	8 5S活動	評価点36点（平均）	評価点40点（平均）
取組項目	目標	実績																												
1 特定化学物質	代替品の適用数158両	代替品の適用数158両																												
2 2種有機溶剤	単色車両の適用数34両	単色車両の適用数34両																												
3 灯油	使用量708,300ℓ	使用量602,200ℓ																												
4 ガソリン	使用量11,962ℓ	使用量11,394ℓ																												
5 事務記録用紙	削減量84kg	削減量388kg																												
6 排出物のリサイクル	リサイクル量3,595 t	リサイクル量4,544 t																												
7 通勤経路清掃	実施回数27回	実施回数32回																												
8 5S活動	評価点36点（平均）	評価点40点（平均）																												
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成23年度の環境目標（各項目より主な取組みを2件抽出） <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 特定化学物質</td> <td>計画どおり適用車両へ塗装を行い、目標達成</td> </tr> <tr> <td>2 2種有機溶剤</td> <td>計画どおり適用車両へ塗装を行い、目標達成</td> </tr> <tr> <td>3 灯油</td> <td>ボイラー運転時間等の見直しを行い目標達成</td> </tr> <tr> <td>4 ガソリン</td> <td>フォークリフトの置き換えにより、目標達成</td> </tr> <tr> <td>5 事務記録用紙</td> <td>両面印刷の確実な実施により目標達成</td> </tr> <tr> <td>6 排出物のリサイクル</td> <td>廃棄物との分別を確実にし、目標達成</td> </tr> <tr> <td>7 通勤経路清掃</td> <td>計画的に実施（月2回以上）し、目標達成</td> </tr> <tr> <td>8 5S活動</td> <td>計画以上の職場の清掃活動を実施し、目標達成</td> </tr> </tbody> </table>			取組項目	評価	1 特定化学物質	計画どおり適用車両へ塗装を行い、目標達成	2 2種有機溶剤	計画どおり適用車両へ塗装を行い、目標達成	3 灯油	ボイラー運転時間等の見直しを行い目標達成	4 ガソリン	フォークリフトの置き換えにより、目標達成	5 事務記録用紙	両面印刷の確実な実施により目標達成	6 排出物のリサイクル	廃棄物との分別を確実にし、目標達成	7 通勤経路清掃	計画的に実施（月2回以上）し、目標達成	8 5S活動	計画以上の職場の清掃活動を実施し、目標達成									
取組項目	評価																													
1 特定化学物質	計画どおり適用車両へ塗装を行い、目標達成																													
2 2種有機溶剤	計画どおり適用車両へ塗装を行い、目標達成																													
3 灯油	ボイラー運転時間等の見直しを行い目標達成																													
4 ガソリン	フォークリフトの置き換えにより、目標達成																													
5 事務記録用紙	両面印刷の確実な実施により目標達成																													
6 排出物のリサイクル	廃棄物との分別を確実にし、目標達成																													
7 通勤経路清掃	計画的に実施（月2回以上）し、目標達成																													
8 5S活動	計画以上の職場の清掃活動を実施し、目標達成																													
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵守評価（年4回）を実施した結果、平成23年度は法令等の違反はなかった。																													
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	平成23年度におけるEMSの見直し 1. 環境方針の見直し 環境マネジメントシステムが本業とも重なる重要なものとの認識を全員で共有すべきであることから、「環境マネジメントシステムの継続的改善が、地球環境保護のみならず車両品質や作業安全性の向上にもつながることを理解し」という表現を追加した。 2. 目標数値の見直し 前年度実績を踏まえて、今年度における目標数値の見直しを行った。 3. 環境関連文書のスリム化 現在の環境関連文書は量が膨大かつ相互の関連文書が複雑であり、全社員が環境管理に取組む上で扱いにくいものとなっているため、文書のスリム化を行った。																													

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。